

2020年9月26日
NHK広報局

NHK の作品がイタリア賞を受賞

世界の優れたテレビやラジオ、ウェブ作品を選ぶ国際コンクール「第72回イタリア賞」の授賞式が、25日午後（日本時間25日深夜）、イタリアのローマで行われ、NHKの「体感 首都直下地震」プロジェクトが、多種多様な方法で視聴者との双方向性を持つ作品を対象とする「ウェブ・インタラクティブ部門」で最優秀賞のイタリア賞を受賞しました。NHKの作品がイタリア賞を受賞するのは、2018年の「ハートネットTV+ 生きるためのテレビ #8月31日の夜に。」以来です。

主催した公共放送のイタリア放送協会は、授賞理由について「自然災害から人々の命を守るためにソーシャルメディア、テレビ放送、人々の行動パターンと科学的に裏付けされたシミュレーションを有効に連携させた」としました。

●ウェブ・インタラクティブ部門 最優秀賞「イタリア賞」

NHK「体感 首都直下地震」プロジェクト

（2019年12月1日～8日放送）

2019年12月2日午後4時4分にマグニチュード7.3の大地震が首都東京で“発災”したと想定し、ドラマ、ドキュメンタリー、ニュース、情報番組、デジタルサービス、イベントなど多様なコンテンツを通じて、発災後のリアルな時間経過を1週間にわたって体感してもらう大型プロジェクト。首都直下地震は30年以内の発生確率が70%、死者2万3千人、負傷者12万3千人、焼失家屋41万2千棟という



国家を揺るがす大災害と想定されている。首都直下地震が発生すると何が起きるのか。命を守るために何をすべきか。テレビ・デジタル・イベントの多様なコンテンツを集中編成し、防災・減災の必要性を伝えました。

井手真也 統括プロデューサーのコメント

「今回のプロジェクトは、いつ起きるか分からない大地震に必要な備えをしてもらい、被害を少しでも小さくしたいと考え制作しました。受賞を励みに、これからも命を救うためのコンテンツを作り続けたいと思います」

《イタリア賞について》

テレビ・ラジオ番組の品質の向上と、優れた作品の顕彰を目的に、1948年に設立された権威ある放送番組国際コンクール。公共放送のイタリア放送協会（RAI）が主催。

第72回の今年は、「パフォーミングアート」「ドラマ」「ドキュメンタリー」のテレビ3部門に119作品、「音楽」「ドラマ」「ドキュメンタリー&ルポ」のラジオ3部門に81作品、「ファクチュアル」「フィクション」「インタラクティブ」のウェブ3部門に50作品が出品された。

《過去の主なNHK受賞作品》

2019年 ETV特集「静かで、にぎやかな世界～手話で生きる子どもたち～」(シグニス特別賞)

2018年 ハートネットTV+「生きるためのテレビ #8月31日の夜に。」
(ウェブ・ノンフィクション部門イタリア賞、イタリア共和国大統領特別賞)

2015年 「君が僕の息子について教えてくれたこと」(シグニス特別賞)

2010年 広島発ドラマ「火の魚」
(テレビ・ドラマ[単発ドラマおよびミニシリーズドラマ]部門イタリア賞)

* 「シグニス特別賞」・・・人間の尊厳や人間愛を追求した作品に贈られる特別賞。